

令和6年度居武士小学校学校評価結果(前期)

項目	No.	職員評価項目	今年度前期		今年度前期		関連児童評価項目	今年度前期		今年度前期	
			今年度前期	昨年度末	今年度前期	昨年度末		今年度前期	昨年度末		
目指す子どもの姿	1	子どもたちは、3つの「あ」(気持ちの良い挨拶・自分の身を守る安全・生活にけじめをつける後始末)に努めている。	△	△	子どもは、家でも、学校でも、地域でも、挨拶や安全、生活にけじめをつける後始末に気をつけて生活している。	○	△	自分からあいさつをしている。	○	○	
	2	基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底により、子どもたちの規範意識に高まりが見られる。	△	△	授業参観などから、学習のきまりを守って勉強しようとする子どもの意識が見られる。	◎	○	授業中は、次のことをがんばり一生懸命勉強している。			
								先生や友だちの話をしっかり聞いている。	○	○	
								自分の考えを積極的に伝えようとしている。	○	○	
								ノートを丁寧な字で書いている。	△	△	
	3	板書・ノート指導、読み書き計算の重視、言語活動の充実により、基礎基本の力や主体的に学ぶ力が育ってきた。	△	○	子どもは、学校での勉強が分かりやすいと言っている。	○	○	学校での勉強は分かりやすい。	◎	◎	
	子どもは、読み書き計算を中心に基礎的基本的な学力や表現力を身につけている。	◎	○								
4	子どもたちは、朝読・昼読・家読に進んで取り組んでいる。	△	△	子どもは、家読に取り組んでいる。	△	△	進んで本を読んでいる。	△	△		
5	子どもたちは、宿題や家庭学習を継続し、復習や予習、発展的な学習などに取り組んでいる。	○	△	子どもは、家庭(みつばちクラブ等を含む)で学習する習慣が身についている。	○	△	毎日、宿題や家庭学習に取り組んでいる。	○	○		
6	日常的な体力づくりにより、運動に対する意欲、体力に高まりが見られる。	△	○	子どもは、健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。	○	○	歩いて登校したり、体を使って遊んだりしている。	◎	◎		
7	子どもたちは、一人ひとりの活動の高まりを認め合うこと(共感的理解)により、自己存在感や有用感を実感できている。	△	○	学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している。	○	○	困った時や悩んだ時、先生はきちんと相談にのってくれる。	◎	◎		
				学校は、児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらを伸ばすように努めている。	○	◎	何事にも積極的にチャレンジしている。	○	○		
				子どもは自己存在感や有用感を感じ、学校生活を楽しんでいる。	○	○	学校に行くのは楽しい。	◎	◎		
				学校生活や家庭生活を通して、自分や人のよさを認め、大切にすることが育ってきている。	○	○	自分のよい所を学習や生活に生かしている。	△	○		
教育活動等	8	月毎、教科毎にバランスのよい授業時数を確保し、適切に指導している。	△	○							
	9	研修活動に主体的に取り組み、指導方法の工夫改善に努めている。	△	○							
	10	道徳の時間はもとより、全教育活動を通じて道徳教育の充実を図るとともに、いじめを許さない学校風土の醸成に努めている。	△	○	学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している。	○	○	仲間はずれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にしている。	◎	◎	
	11	集団の一員としての自覚、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成のため、学級活動や学校行事、児童会活動等の充実を図っている。	△	○							
組織運営	12	各分掌が連携を取り、効率的に学校運営を進めている。	○	◎							
	13	教務を中心に学校運営に参画できている。	○	○							
環境教育	14	教材・備品・図書等について計画的に整備が進められている。	◎	◎							
開かれた学校づくり	15	町内幼・小・中・高校と相互交流を深めるとともに、必要に応じて教育機関との連携に心がけている。	○	◎	学校は、幼・小・中学校と連携をとり、交流学習や教育活動の充実に努めている。	○	○				
	16			学校は、学校運営協議会と連携して教育活動を推進している。	○	○					
教職員の育成	17	人事評価シートの目標が適切であり、改善に向けて努力している。	○	○							
	18	効率的な業務推進に努めている。	○	○							
	19	服務規律を遵守している。	◎	◎							
家庭教育	20			家庭では、朝食を必ずと摂ることやゲームをする時間、学習時間など生活リズムについて話し合っている。	○	○					
	21			家庭では、子どもが家庭でも読書に親しむよう声かけをしたり、図書館や移動図書の活用を促すなど、読書環境の充実に努めている。	△	△					

* アンケート各項目の平均を以下の計算式により算出し、◎～2.5以上 ○～2.0以上2.5未満 △～2.0未満で評価しました。
 平均=(Aの人数×3+Bの人数×2+Cの人数×1+Dの人数×0)÷総人数(不明は除く)